

# 地域総合学部

地域コミュニティ学科

政策デザイン学科

## 地域総合学部での学び

地域は私たちが生きる「現場」です。そこには多様で複雑な課題が多数存在し、その解決には複数の学問分野を学び、物事を総合的に理解する力が求められます。地域総合学部(Faculty of Regional Studies= FoReSt(フォレスト= 杜)では、地理学、地球科学、生態学、社会学、社会福祉学、教育学、経済学、経営学、政治学、文化人類学などを学ぶことができ、まさに「知の杜」といってふさわしい学問分野の広さが特長です。

### 学びの杜は学外へ・多彩なフィールドワーク

学びの場は教室だけに留まらず、フィールドワーク(現地調査)を通して地域のさまざまな人々となつたり、共に解決策を考え、協働することで、すべての人々にとってより良い地域社会の創造をめざします。

地域総合学部をもっと知る



## Admission Policy

入学者受け入れの方針  
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 地域総合学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域に関する自然・社会事象及び政策を学ぼうとする関心と意欲を持ち、地域が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、地域総合学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらに応用する力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は  
こちらからご確認ください



# 地域総合学部 地域コミュニティ学科



Department of Regional Community Studies

## 理念・目標

多様な要素から成り立つ地域を深く理解して、地域住民の視点でよりよい地域を構想し、地域の課題を解決していくことのできる人材を育てる。

**専門領域** 本学科では、地域の諸課題について3つの領域から学際的に学びます。

### 社会と産業領域

農山漁村から、街の商店街や産業に目を向け、地域の特性とそこで暮らす人々の関係について学びます。経済地理学、地域政策論、地域資源保全論、地域社会論、地域文化論、地域教育史をもとにこれらを考えていきます。

### 健康と福祉領域

人や地域それぞれの実情に応じた適切な支援・援助が受けられるコミュニティづくりのため、住民や地域が抱える生活課題を把握する手法と解決策を学びます。地域福祉学、福祉社会学、市民活動・NPO論、教育制度論、臨床心理学、生涯教育論をもとにこれらを考えていきます。

### 人と自然領域

人と自然の共存、環境、自然条件を活かした土地利用と災害への備え、生活文化など、地域と自然のかかわりを学び、そのあるべき姿や求められる市民性について探究します。自然地理学、生態学、地域防災科学、市民性教育論をもとにこれらを考えていきます。

専門分野

専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	社会と産業基礎論 健康と福祉基礎論 人と自然基礎論 基礎コンピュータ 市民活動論	地域生活論 地域と自然 地理学要説 地誌学要説 SDGs 概論	地域データ分析法	総合研究Ⅰ・Ⅱ
社会産業領域科目		経済地理学 地域資源保全論 地域と教育の歴史	都市と農山村の地理学 地域システム論 地域社会論 地域政策論 地域文化論	
健康福祉領域科目		地域福祉論 生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ 社会コミュニケーション論	地域と教育支援 NPO論 福祉社会学 教育と社会	
人と自然領域科目		気候学 地形学 生態学 環境社会学	環境マネジメント 地域防災科学 SDGs とシティズンシップ論	
実習科目	地域コミュニティ学基礎実習	地域コミュニティ学発展実習	測量学実習 GIS 実習 海外地域実習	
専門関連科目	日本史概説 外国史概説 民俗学概論Ⅰ・Ⅱ		測量学	

## Topics

### 学科の特色1

## 歩いて、見て、聞いて、考える —— 地域に学ぶ、2年次の実習 ——

2年次の「地域コミュニティ学発展実習」は、1年次の体験的な実習とは大きく異なります。地域そのものが「学びの場」であり、フィールドに足を運んで地域の構造や伝統・文化について、直接的な学びを得ます。事前に先行研究を検討し、既存データを把握した上で、現場では自然観察や、行政機関や地元住民、関係グループなどに聞き取りをしながらデータを収集し、大学に持ち帰って分析。少人数のグループワークで話し合い、考察を深め、プレゼンテーションや報告書にまとめます。このように受講生自身の手で地域調査を企画・実施します。地域「に」学び、そこから得られる知識や経験を重視しています。



## Topics

### 学科の特色2

## 地域のデータを収集し 分析・考察する専門スキルを学ぶ

「地理情報システム (GIS)」とは、地域に関するさまざまな情報を地図上にマッピングして分析できるソフトウェアであり、多くの分野で活用が進んでいます。地域コミュニティ学科の専門科目「GIS実習」では、GISを用いた実習を通じて、地域を分析するために必要な技術を習得できます。この授業では、実務経験を持つ教員による実践的な講義と実習を通じて、地域を深く理解し、その知識を応用する力を身につけることができます。さらに、所定の科目を履修し、必要な単位を取得することで、GIS学術士などの資格を取得できるようになる予定です。



More Topics



## 現在進行形の地域課題に向きあう まさに求めていた学びがここに！

**2年 松浦 乃々春 さん**  
(宮城県／多賀城高等学校出身)

地域で昔ながらの密接な関係性が失われていくことが残念で、「何か自分にはできないことはないか」と考えていたところに新設された本学科。まさに求めていた学びがありました。座学ではボランティアやNPO、市民活動に関する講義が興味深いです。フィールドワークでは石巻の商店街について自分たちでテーマを決めて、自分たちの力で実際にお店の人に話を伺ったり、郷土料理を食べて食材を確かめたりもしました。

学内のボランティアサークルや、仙台・青葉まつりを盛り上げる学生団体にも所属しています。市民プール監視員のアルバイトは、公共施設に何が求められているかを知りたくて始めました。また、今年は大学からの推薦で多賀城市総合計画の審議会メンバーに参加しています。本学科に入っていなければ巡り合えなかった貴重な機会なので、全力で取り組みたいです。



NEXT

続きはこちら



# 政策デザイン学科 地域総合学部



## 理念・目標

地域社会を地球規模の社会経済システムとの関係で捉え、さまざまな地域の課題に多様な担い手が協働して取り組むための研究・教育を行うことで、課題の解決に資することができる人材を養成する。

## 専門分野

### <市民社会領域> SDGs概論

SDGsの登場の背景とその具体的内容について、開発概念のパラダイムシフトの過程から考察することでSDGsのフレームワークを整理し、現在の地球上で起きている個々の事例を検証します。

### <経済産業領域> 地域企業経営論

地域社会における課題解決に取り組む事業者の活動を理解すると共に、地域社会の特性に応じた事業展開の可能性を検討し、そのために必要な資源、計画を戦略的経営の視点から学びます。

### <公共行政領域> 格差社会論

社会保障論、経済史、財政学などの視点から、日本と諸外国における格差問題について考察します。複数の教員で授業を担当し、「雇用格差と健康格差」「アメリカの経済格差と財政的再分配」などを学びます。

専門分野

領域専門科目

演習・実習・特殊科目

専門関連科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	SDGs 概論 経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経営論 政治経済学Ⅰ	政治経済学Ⅰ・Ⅱ 政策形成論 政策評価論	福祉国家論 公共哲学Ⅰ・Ⅱ 企業倫理Ⅰ・Ⅱ	地域社会論 共同体と市民社会
公共行政	社会保障論 財政入門 政治学入門	社会保険論	地方財政論 格差社会論 社会福祉原論 労働政策論 環境政策論	公的扶助論 公共政策分析 福祉政策と地域 地方自治論 行政学
経済産業	地域産業論 金融入門	グローバル時代の労働問題入門 地域経済データ分析 地域企業経営論 加齢経済論Ⅰ 国際貿易論	加齢経済論Ⅱ 地域金融論 地域観光論 社会と開発 労働経済論	日本経済論 日本産業論 地域政策論 東北経済論 東北開発論
人と自然 領域科目	現代社会問題論 日常生活とジェンダー	災害社会論 多文化共生論	ジェンダーと政策 人権政策論 災害ボランティア・NPO論 シティズンシップ論	地域防災・減災論 復興まちづくり論 障害学 災害とマイノリティ
演習・実習・ 特殊科目	基礎演習	政策デザイン実習Ⅰ・Ⅱ 特殊講義	演習Ⅰ 地域プロジェクト実習	演習Ⅱ 卒業研究
専門関連科目		憲法Ⅰ・Ⅱ 民法総論	行政法総論 労働法 商法 家族法	社会保障法

## Topics

### 学科の特色1

## 各現場の最前線で活躍する方々の 話を聴く・質問する・考える

本学科では、多彩な学びの一環として「学生のための講演会」を年に2回開催。さまざまな現場で試行錯誤を重ねながら活躍している方が講師で、その話を通じて自分にできることや将来について考えます。

2024年前期はNPO法人アスヘノキボウの丹野真人さんが「女川町が挑む公民連携のまちづくり」というテーマで講演。コンパクトシティを指向した、公民連携による未来を見据えたまちづくりの経緯と現状、そこで第三のハブとして機能するアスヘノキボウの活動について話を伺いました。



※講演会の様子は本学科のWebサイト「多彩に学ぶ」ページにも掲載しています。

## Topics

### 学科の特色2

## 政策デザイン実習 「子育ての社会的支援を学ぶ」

育児負担の女性への偏りが大きな問題となっている現在、子育ての社会的支援は親支援としての重要性も持つようになってきました。この実習では児童館で実際に働くことで、親とも教師とも異なる立場から子どもと接するスタッフの「実践知」を学びます。少子化や働き方改革といった社会課題について教室で学んだ知識と、子育て支援の現場で学んだ経験とを重ね合わせて、課題の解決とは何を意味するのかについての考察を深めます。



More Topics



## 地域課題を解決し、まちを元気に！ 将来の選択肢を広げてくれる学び

### 2年 高木 茜璃 さん (岩手県/盛岡北高等学校出身)

高校の探究学習で空き家問題について調べたことをきっかけに、地域活性化や政策に関心を持ち本学科を志望しました。1年次の「基礎演習」は、調べたことを分かりやすくまとめ発表する基礎を、実践しながら身につけることができました。これからの大学生活や社会人になってからも役立つスキルだと思います。2年次では専門科目が増え、社会課題や政策について具体的に学んでいます。私たちは学科一期生ですが、先生方の「良い学科をつくらう」という熱量を強く感じます。

入学当初は、「地域を元気にできる仕事は公務員しかない」と思い込んでいましたが、授業を受ける中でがらりと転換。民間企業もNPO団体も力強く地域に貢献していると知り、将来の選択肢が大きく広がりました。自宅は岩手県盛岡市で、新幹線通学。キャンパスが仙台駅近くに集約されているからこそ、この選択を実現できました。



NEXT

続きはこちら

